

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	570 地域公共交通計画進行管理業務（旧：地域公共交通網形成計画進行管理業務）					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	政策係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市地域公共交通計画(令和3年3月策定)			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 交通対策基本法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	利便性が高く、持続可能な公共交通網の実現を図るため、策定した「つくば市地域公共交通計画」の進捗管理を行う。
概要 (取組内容)	つくば市地域公共交通計画に掲げられた基本理念「様々なデータや新技術で、人と人、まちとまちが“つながり”、未来へと“つながる”地域公共交通を目指して」と4つの基本方針に基づき14の指標を設定した。この指標の評価点検を実施し、国土交通省への報告を行う。なお、本計画の施策については、つくば市公共交通活性化協議会における審議案件となる。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	14,931	735	8,809	8,976	8,976	
	決算額	(千円)	14,548	731	7,920	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	14,548	731	7,920	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,400	4,623	5,974	5,448	5,448	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	130.00	214.83	214.83	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	一般市民向け及び施設利用者向けアンケートで、公共交通に関する意向調査を実施。 つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

指標名	指標 9 項目の達成割合 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	実績	55.5	44.4	0.0	0.0	0.0
指標の概要	地域公共交通網形成計画の関連指標 9 項目の達成割合（R02年度で計画は終了）					

2	指標名	指標 1 4 項目の達成割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	指標の概要	つくば市地域公共交通計画の関連指標14項目の達成割合 (R03年度は計画初年度のため評価実績なし)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和4年度の公共交通政策点検・評価業務を委託事業として実施した。	
成果	つくば市地域公共交通計画に定めた14の指標のうち2項目 (MM実施対象者数、広域連携バス路線数) を達成 (14.3%) 。 施策の1つである「デマンド型交通の効率性や利便性向上に向けた抜本的な見直し」について、分析及び検討を行い、つくタクの制度改正案に係る短期・中長期案を示した。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染症のまん延による移動自粛等に端を発した新しい生活様式の定着に伴い、利用者数の減少などが生じたことで、達成できない指標が多くある。
	組織、予算等	—
改善目標	本事業を次年度も継続し、指標を達成させるための各施策を実現させるとともに、指標の達成状況を点検・評価する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	571 つくばエクスプレス利便性向上事業					
予算科目	01-080411-13	つくばエクスプレス利用促進に要する			担当部課	都市計画部総合交通政策課
市長公約					係名	政策係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	つくばエクスプレス利用者の利便性を向上させる。
概要 (取組内容)	沿線区市と連携し、要望活動や勉強会等を行い、利便性を向上させることにより、利用者増を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	130	158	158	158	158	
	決算額	(千円)	120	113	119	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	120	113	119	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	734	706	703	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	21.67	9.00	9.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくばエクスプレス 4 駅の 1 日平均利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	34,300.0	21,000.0	24,800.0	30,200.0	0.0	0.0
	指標の概要	4 駅（つくば駅、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅）の 1 日平均利用者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	東京駅延伸、その他利便性向上策への要望活動	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市が参画するつくばエクスプレス沿線7市区首長懇談会から首都圏新都市鉄道株式会社に対して「東駅延伸等に係る要望書」及び「東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望書」を提出 ・市が参画する茨城県つくばエクスプレス三市推進協議会から茨城県と首都圏新都市鉄道株式会社に対して「つくばエクスプレス東京駅延伸と利便性向上に係る要望書」を提出 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性なども含め、TXの利用促進（特に下り誘客）に努める必要がある。 ・令和7年のTX20周年に向けたイメージアップ事業の検討を行う。
	組織、予算等	—
改善目標	沿線自治体による利用促進PR活動の実施	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	016 路線バス実証実験事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	1	路線バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）				事業期間	期間限定複数年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	事業者が収益の見込みがあるか検討している路線について、市が、実証実験事業として、事業が軌道に乗るまでの一時金及び運用費を負担し、路線バスの移動需要について調査・検討を行う（R04年度から）。
概要 (取組内容)	<p>関鉄パープルバス石下・土浦線経路変更：関鉄パープルバス石下・土浦線について、「西平塚」経由を「学園の森」経由に変更することで、学園の森2丁目・3丁目地区住民のつくばセンター方面への移動手段を確保する。</p> <p>関東鉄道松代南循環新設：宅地造成が進む「松代五丁目」を対象とした新規路線を運行することで、松代五丁目やバス空白地域の移動手段を確保する。</p> <p>以上により、利用者数等を把握する。</p>

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	49,570	45,618	7,561	21,588	21,588	
	決算額	(千円)	44,133	34,101	8,245	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	44,133	34,101	8,245	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,200	2,169	2,163	2,163	2,163	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	65.00	48.75	48.75	48.75	48.75
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	路線バス運賃補填実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	53,436.0	53,436.0	53,436.0	0.0	0.0	0.0
実績	79,236.0	58,469.0	64,951.0	0.0	0.0	0.0	
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 運賃補填事業の対象便及び対象区間をICカードで利用した者の人数 (R03年度末で終了)						

2	指標名	路線バス増便実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	11,967.0	11,967.0	11,967.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,960.0	10,319.0	12,170.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	日中時間帯に増便した野田団地線(つくばセンター⇄土浦駅※上ノ室経由)の利用者数(R03年度末で終了)					
3	指標名	路線バス運行実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16,276.0	16,276.0	16,276.0	0.0	0.0	0.0
	実績	27,075.0	21,825.0	26,218.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	「富士見台」と「牛久駅」間を運行する新規路線バスの利用者数(R03年度末で終了)					
4	指標名	石下・土浦線の1日当たり利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0
	指標の概要	石下・土浦線新設バス停の1日当たり利用者数(R04年度初から運行開始)					
5	指標名	松代南循環の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	50,232.0	101,016.0	100,740.0
	実績	0.0	0.0	0.0	14,212.0	0.0	0.0
	指標の概要	松代南循環の年間利用者数(R04年10月から運行開始) 1日23便、運賃単価210円で試算					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和4年4月から石下・土浦線経路変更の実証実験を開始、令和4年10月から松代南循環路線バス運行実証実験事業を開始。					
成果	石下・土浦線経路変更の実証実験では、1日当たりの平均利用者人数4.8人で目標値の4.0人を上回った。松代南循環では、10月～12月までの利用者数は14,212人で、1便当たりの平均利用者人数は3.4人であり、損益分岐点となる利用者数14人を下回っている。					
課題	業務	松代南循環が、想定より利用されていないため、利用促進をする必要がある。				
	組織、予算等	世界情勢の影響により、原油価格が高騰しており、予算不足の恐れがある。				
改善目標	松代南循環の利用促進をする必要がある。					

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	2	コミュニティバス「つくバス」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、都市内交通としての役割を担う。
概要 (取組内容)	10路線において、一日317便、年間365日コミュニティバスを運行する。 つくバス運行に伴う諸問題を解消するとともに、利用促進に向けた取組みを行い、利用者増を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	374,298	372,552	411,846	374,780	397,283	
	決算額	(千円)	352,365	342,640	350,971	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	352,365	342,640	350,971	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,732	11,026	12,351	12,351	12,351	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.60	1.60	1.80	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	346.67	37.75	37.75	37.75	37.75
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座で利用方法説明。
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	コミュニティバス利用者数 (人/年)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,000,000.0	1,010,000.0	1,020,000.0	1,030,000.0	1,040,000.0	1,053,000.0
	実績	994,202.0	646,036.0	738,118.0	981,786.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) コミュニティバス「つくバス」の利用者数 (全路線累計) ※目標値は令和元年度から設定					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	停留所や時刻表の見直しを行い利便性向上に努めた。	
成果	通学利用している生徒がいる小学校に時刻設定を確認し、つくば市公共交通活性化協議会にて協議し、時刻表の改正を実施。バス待ち環境の改善策として、広告付きバス停上屋事業に関する協定に基づき、14基広告付きバス停上屋を設置。デジタルサイネージ広告事業に関する協定に基づき、広告収入の歳入増。令和4年度の利用者は981,786人であり、前年度比で243,668人増加している。	
課題	業務	西部シャトルの利用人数が少ないため、停留所の見直しを行い、1便当たりの運行時間を短くする等の改善が必要である。
	組織、予算等	世界情勢の影響により原油価格が高騰しており、予算不足の恐れがある。
改善目標	つくば市公共交通活性化協議会の協議を通じて、ルートや時刻表の見直し等利便性向上策について進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	3	デマンド型交通「つくタク」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	バスへの接続及び交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保。
概要 (取組内容)	市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。 5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台にデマンド型交通を運行し、利便性を向上させ、利用者増を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	150,243	150,243	147,804	153,025	153,025	
	決算額	(千円)	146,723	146,723	147,804	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	146,723	146,723	147,804	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,866	5,580	8,285	8,285	8,285	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.80	1.20	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	173.33	46.25	46.25	46.25	46.25
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座で利用方法説明。
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	デマンド型交通利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0
	実績	53,887.0	41,071.0	44,380.0	48,789.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	財政負担が高いため、令和4年度はコンサルタント会社を入れ、事業形態の見直しに関するアンケート調査やデータ分析を実施した。	
成果	利用者数は令和4年度は48,789人となっており、前年度比4,409人増加となっている。出産支援運賃割引制度は、登録者数1,003人、利用回数2,327人となっており、新たな利用者層の獲得につながっている。 また、10月から支払い方法に現金払いを追加した。	
課題	業務	財政負担が高いため、令和4年度から令和6年度にかけて事業形態の見直しや、予算の範囲内で実証実験的な取り組みを行っていく必要がある。また、予約が取りにくいとの声が多いため、対応する必要がある。
	組織、予算等	収支で、事業に対する市の財政負担率が高い状況が課題である。
改善目標	利用者から予約が取れないとの声が多いことから、改善する。また、継続的に財政負担率の改善を図るため、料金設定や運行形態の見直し、つくたくの制度上の改善を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	015 支線型交通運行事業（旧：支線型バス実証実験事業）					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	4	支線型バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）				事業期間	期間限定複数年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	令和元年度からの3年間の実証実験の結果を踏まえ、コースの廃止及び見直しを行い、地域の移動を担う支線交通として本格運行を行う。（R04年度から）
概要 （取組内容）	筑波地区で3年間行った実証実験の結果を踏まえ、筑波山神社方面のコースを一部見直した上で令和4年10月から本格運行を行う。 本格運行に際して、車両を実証実験期間中の10人乗ワゴン車1台から、2台体制に増強し、1日16便の、定時定路線運行を行う。 運行時間は、概ね8時～18時、土日祝日も運行することにより、つくたくと差別化を行い、地域に根付く公共交通として利用者増を図る。

コストの推移

項目		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円) 62,125	62,125	48,932	29,011	30,274	
	決算額	(千円) 61,751	61,751	24,653	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 61,751	61,751	24,653	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 9,532	7,088	5,022	5,022	5,022	
	内訳	正職員従事割合	(人) 1.30	1.00	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間) 281.67	104.25	104.25	104.25	104.25
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	筑波地区沿線区長との意見交換会を実施。 つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	筑波地区沿線区長との意見交換会を実施。 つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

指標名	年間利用者数 (人)					活動結果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	15,840.0	15,840.0	15,840.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5,749.0	4,662.0	4,976.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 「支線型バス(実証実験)」の年間利用者数(R03年度末で実証実験は終了)						

2	指標名	年間利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	2,816.0	5,760.0	5,744.0
	実績	0.0	0.0	0.0	2,469.0	0.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 「支線型バス(本格運行)」の年間利用者数(R04年10月から運行開始)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地元との協議、現地立会を実施し、コースの見直しを行い、本格運行を令和4年度10月から開始した。	
成果	令和4年度の利用者数は2,469人。1便当たりの利用者数は0.88人。補助対象便に限ると0.68人/便。	
課題	業務	1便当たり1人以上の乗車を、事業継続の目標としているため、事業が継続できるよう業務改善や利用状況を地域住民と共有し運行していく必要がある。
	組織、予算等	財政負担率が非常に高い状況であり、1便当たり1人以上の乗車をしてもらえることで、国の補助金を活用できるため、地域と協力して取り組んでいく必要がある。
改善目標	1便当たり1人以上乗車が目標となる。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	043 MaaS等の活用検討						担当部課	都市計画部総合交通政策課
予算科目	01- - 一般会計						係名	政策係
市長公約							新規・継続	継続
戦略プラン	II-5	1	5	MaaS等の移動サービスを活用したモビリティ			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
							事業期間	毎年度
個別計画							SDGs	11住み続けられるまちづくりを
根拠法令等								

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	公共交通の利用促進を図るため、多彩な交通手段を予約から決済まで可能なMaaS等の活用を検討する。
概要 (取組内容)	民間企業が構築を進めているMaaSのプラットフォームを研究し、連携を検討する。また、既存の経路検索サイトへつくバス時刻等のオープンデータを積極的に提供する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	734	684	681	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	21.67	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	経路検索サイトへのデータ提供数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	3.0	2.0	4.0	5.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) NAVITIME等の経路検索サイトへのデータ提供数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばスーパーサイエンスシティ構想と連携した事業として、つくスマアプリを活用した。	
成果	つくスマアプリ上に、つくバス、つくタク、つくばね号及び路線バスの市内停留所位置情報を公開した。Google社と契約を締結し、新たにGoogle マップ上で、つくバス及びつくばね号の経路検索を可能にした。国土交通データプラットフォームへのデータ登録を目指し、GTFSデータリポジトリサイトに、つくバス及びつくばね号のGTFSデータを公開した。	
課題	業務	—
	組織、予算等	スマートシティ協議会との連携強化
改善目標	スマートシティ協議会の会議体に参画し、MaaSに関連する事業の推進をする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—